

### 流行性耳下腺炎

2015年50週の県全体の定点当たり報告数は、49週と変化なく1.01であった。過去4年の同時期と比較し多く、4～5年間隔で大きい流行を繰り返すことが報告されており、今後の流行状況に注意が必要である。

保健所別定点当たり報告数は、16保健所中5保健所管内で増加し、市原(2.71)、印旛(2.06)、海匝(2.00)、松戸(1.56)、山武(1.50)、柏市(1.11)が多い。

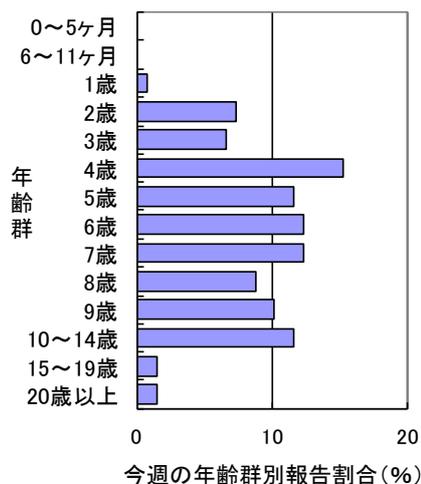
2015年50週に報告された137例の性別は、男性65例(47.4%)、女性72例(52.6%)で、年齢群別では、4～7歳が71例で51.8%を占めていた。

参考

- 1) 国立感染症研究所 病原微生物情報 (IASR) Vol. 34 No. 8 (No. 402)

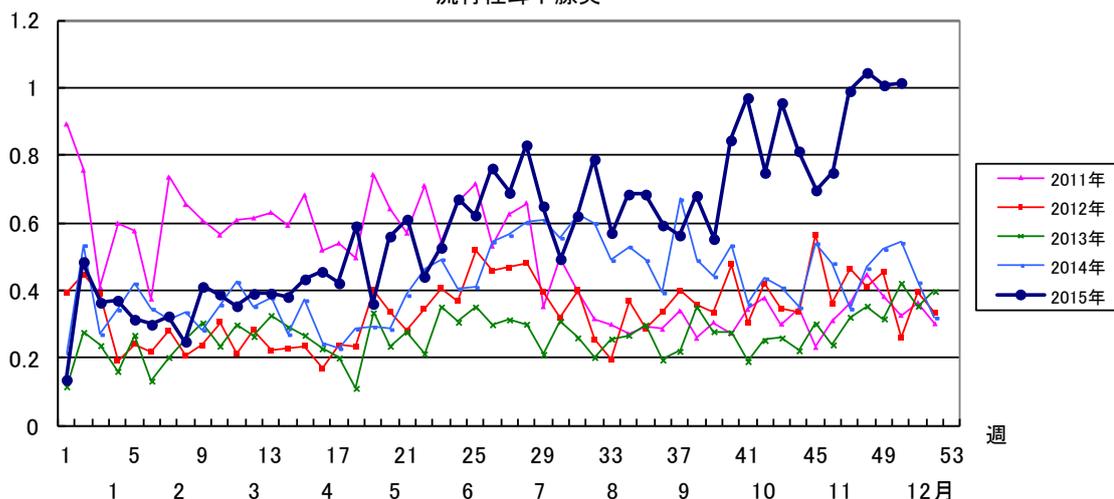
URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-vol34/3968-iasr-402.html>

### 流行性耳下腺炎



定点当たり報告数

### 流行性耳下腺炎



### 流行性耳下腺炎

